つくし園だより

令和５.４月 394 号

【つくし園】
〒791-8041
松山市北吉田町
77-34
TEL(089)951－5331
FAX(089)951-5348

新年度を迎えて

施設長　永井　裕二

園庭の桜から春の香りが心地よく漂ってくる季節となりました。

さて、新型コロナウイルス感染症に振り回された3年間でしたが、４年目になり少し落ち着いてきたようです。様々な制約の緩和に伴い、今年度は園としても状況をみながら、少しずつコロナ前の活動に戻していくように検討していきたいと思います。利用者の皆さんも、外出や行事活動ができることを励みに日々の活動に取り組んでおられます。

つくし園も開園三十四年目を迎え、利用者の方の平均年齢も五十歳を優に超えました。それに伴って保護者の方々も歳を重ねられ、介護サービスをご利用されている方も多くなりました。利用者の方のみならずご家族への支援も大切になってくると思われます。

コロナ禍でご家族とお会いしたりゆっくりとお話しさせて頂いたりする機会がなくなっていましたが、今年度は感染対策に努めながらお話しができる機会を設け、日々のご家庭の様子や色々な思いをお聞きしていきたいと思っています。

『手をつなぐ』の機関誌の中で自分の老い支度を考えるという特集があり、『「親亡き後」の前には、ほぼ確実に自分自身の「老い」が待っており、子どもに遺すこと、次世代に継ぐこと、自分自身で整理すること…。さまざまな準備と合わせて自分自身の人生を振り返る大切なプロセスである「老い」の時期について考えましょう。』と、書かれていました。そのような時期にさしかかった保護者の方の思いも含め、色々なお話しをお聞かせいただき、利用者の方を中心にご家族のサポートもできればと思います。

また、利用者の方が年齢を重ね、身体的な介助の必要性が増えたり細やかな体調管理が必要になったりという変化の中で、これまでの支援に加え、更なる介助スキルの向上や環境整備、医療との連携などより多様化されるニーズに応えることが必要となっています。

その中でも大切にしたいことは、利用者の方ひとりひとりの思いに寄り添い、その気持ちに応えられる支援を日々積み重ねていくことです。

今年度は色々な制限が軽くなる中で、感染対策を続けながらも利用者の方とたくさんの経験を重ね、楽しい思いを共有しながら信頼関係を深めることができるよう、職員一同努めていきたいと思います。

４月の開園日

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

・１５日土曜日は開園日です。

４月の行事予定

・7日（金）・・・家族会総会
・21日（金）・・・開園記念祝い
（つくし園内）
・26日（水）・・・避難訓練
・28日（金）・・・月末大掃除

総合防災訓練

３月１６日木曜日 消防署立ち合いの総合防災訓練を実施しました。すぎな園から出火との想定での避難訓練は毎月の避難訓練を実施しているためか、皆さん避難場所までスムーズに移動することができました。　その後は水消火器を使って消火訓練を行いました。職員だけでなく希望する利用者の方も消火訓練を行いました。

いざという時に落ち着いて対応できるようにこれからも訓練を重ねていきたいと思います。

文責：　阿部秀人　小松宴江

♫お楽しみ会♫

３月１日水曜日　お楽しみ会を開きました。

10時半頃、大きなトラックが園庭に到着。しばらくするとお出汁のよい香りが漂ってきました。

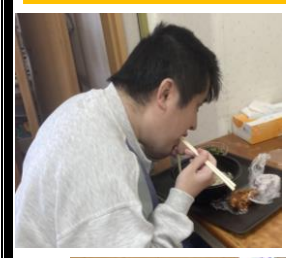
そう、今回は『やすまるうどん』さんのキッチンカーに来ていただいたのです。利用者のみなさんもソワソワ。

午前中の活動が終わるといよいよ食事です。

事前に『肉うどん』か『きつねうどん』を選んで、サイドメニューのから揚げやおにぎりも食べたい方は注文していました。自分の注文した物が書かれたチケットを手に、順番にキッチンカーへ向かいます。

珍しそうにキッチンカーの中を見回す方。うどんを茹でる手元に見入る方。にこやかに店員さんに挨拶をする方。それぞれのスタイルで出来上がりを待って慎重にお盆を運んでいざ実食。

栄養バランスを考えて調理員の作ったほうれん草のおひたしも一緒にいただきます。



ずいぶん気温があがってきたとはいえ、まだまだ肌寒い時期。あったかいおうどんは格別でした。

さすが出汁の素を販売している『やすまる』さん。おいしいおうどんごちそうさまでした。

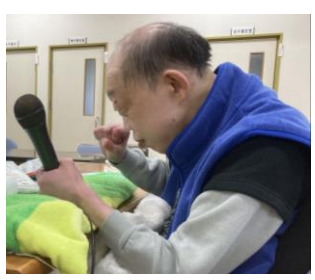
食事がすんだらカラオケ大会の始まりです。

今回は初めて本棟と作業棟に分かれてカラオケをしてみました。作業棟では小さなテレビ画面にはなりましたが、普段よりもゆったりとした雰囲気の中で、ひとりにつき沢山の曲を歌うことができてなかなかよかったようです。

好きな飲み物を選んでお菓子もつまみながらカラオケを歌い、楽しい時間を過ごして令和４年度最後の行事活動が終わりました。

今年度は色々な制約が緩和されることとなりました。まだまだ気を抜くことはできませんが、感染予防に努めながらも少しずつ利用者の方のご要望をお聞きしながら外出を伴う活動もできるように企画していきたいと思います。また、その様子もつくし園だよりでお届けできればと思っています。

なお、来月号から担当が阿部支援員から竹野支援員に変わります。今後ともよろしくお願いします。



文責：　阿部秀人・小松宴江